

# 皆さんから分別排出いただいていますプラスチック製容器包装が、 どのようにリサイクルされているかを特集しました。

## ◎プラスチック製容器包装再製品化のながれ

- 家庭では**、プラスチック製で商品を入れてあった容器及び包んであった包装などを分別して、指定日にステーションへ排出します。
- 町では**、家庭から排出されたプラスチック製容器包装を収集し、中間処理業者の工場において、一定の大きさのかたまり(ベール)に圧縮した後、再生処理業者へ引き渡します。
- 再生処理工場では**、町から引き取ったプラスチック製容器包装のベールを解体して、約15ミリに砕いた後洗浄し、車止め・土木資材・その他景観資材等の原料として使用できる製品(ペレット)を作ります。

## ◎プラスチック製容器包装が生まれかわるまで

### 家庭



①家庭から出るごみをプラスチック製容器包装とそれ以外とに分別する。  
(プラスチック製品や汚れているものは混入させない)



②指定日にステーションへ排出

### 注意



まだ、こんなものが混入しています。  
(スプーン、ストロー、計量スプーンなど)

### 町



ステーションより収集

### 再生処理工場

#### ②一軸粉砕機



約15ミリ片(フレーク)に破碎する

#### ①二軸破碎機



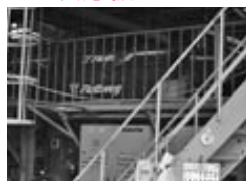
梱包をほぐし、粗切りする。

#### ③洗浄後水による1次分級工程



破碎したフレークを水中に投入して比重の違いにより選別する

#### ④遠心分離機により2次分級



遠心分離機によって、より比重の小さいフレークを分離する。

#### ⑤配合・造粒



最終フレークを溶かし、造粒されたプラスチックを製造



一定の大きさのかたまり(ベール)に圧縮梱包

比重の重いフレーク

## 『混ぜればごみ 分ければ資源』

## 1人1日100グラムごみ減量運動推進中

わずか100グラムの減量でも、全町民が取り組めば年間約800トンも燃やすごみを減らせます。(笠松町の年間焼却量は約8,000トンです。)